

事務事業名		環境学習推進事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	6	終了		
H27担当課等名	環境課		H27係等名	環境保全係		H26係等名		環境保全係							
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
	施策	54	自然とのふれあいと環境学習の推進												
目的	対象(誰・何を)	①環境調査員(環境チェッカー) ②市内に生息する動植物										対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	①環境調査員(環境チェッカー)の環境意識が高まる ②動植物の生息状況を把握する											環境調査員(環境チェッカー)(人)	56	
	向上させたい上位施策の成果指標	自然とふれあいを持ったことがある市民の割合(%)											調査対象とした動植物数	14	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	環境への意識が高まったとするチェッカーの割合(アンケートによる)(%)			80	80	80	80							
	成果指標	動植物調査報告件数(件)			400	406	400	400							
	定性目標	環境調査員(環境チェッカー)の環境意識の向上、指標動植物の生息状況の把握を行う。													
事業概要	1 各小中学校推薦の児童生徒と各地区の推薦又は応募による大人110人以内を環境調査員(環境チェッカー)として委嘱し、市内の身近な自然環境調査活動を実施する														
	2 豊かな自然環境を保全し、自然とふれあう、体験型の学習の機会を提供する														
	3 こどもエコクラブ事務局から送付される通知、キットの配布														
26年度事業内容	事業内容					名称				活動指標					
	1 環境調査員(環境チェッカー)による動植物調査の実施 2 調査活動の正確性をより高めるため、事前に調査員に対して調査活動を行うにあたっての研修を行う 3 自然観察会(自然観察会、水生生物観察会)や環境学習会などを開催を検討すると共に環境に関する講演会等の案内を行う 4 こどもエコクラブの通知の送付、キットの配布 5 各学校で取り組みやすい環境学習の紹介					1 参加者数 2 報告件数 3 開催数 4 配布件数				63人 406件 3回 3回					
	事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
	事業費計(千円)①		259	441	213	489									
	国庫支出金														
	県支出金														
起債															
その他															
一般財源		259	441	213	489										
人件費計(千円)②		2,146		2,199											
正規職員所要時間		600		600											
臨時職員所要時間				50											
総事業費①+②		2,405	441	2,412	489										
事業内容・目標達成状況の振り返り	環境チェッカーについては、調査方法をよりわかりやすい内容として実施した。学習会や自然観察会等行って意識を高めた。														
改革改善の考え方	①問題点	調査員へのよりわかりやすい説明会の開催と成果のまとめ方の検討													
	②改革提案	指標動植物調査の精度を高めることで、報告数も上がることが考えられる そのために調査の方法が会得できる学習会や自然観察会などにより意識を高めてきた													